

ウインドシールドシリーズ RS (クリア/ミドルサイズ) SS (スモーク/ショートサイズ)	適応車種	商品NO.
	DAX125 <8BJ-JB04>	92652 (RS) 92653 (SS)

■ ご使用前に必ずご確認ください ■

※本商品のご使用前に最終項に記載の URL (保証規定) より保証規定の内容を読み、ご理解のうえご使用ください。
 ※本商品の使用をもって、本書と保証規定の内容の全てを理解・承諾したものとみなします。本書内の注意事項を守らず使用したことによる事故や損害について、当社では一切の責任を負いません。
 ※本書は、いつでも取り出して読めるように大切に保管してください。また第三者に譲渡する場合は、必ず本書も併せてお渡しください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		禁止の行為であることを告げるものです。		表記の注意を告げるものです。		その他の警告及び注意を告げるものです。
--	-------------------------	--	---------------------	--	----------------	--	---------------------

警告 要件を満たさず使用しますと、死亡または重傷に至る可能性や第三者の生命や財産を損なう可能性が想定される場合を示してあります。

	<ul style="list-style-type: none"> 本商品は太陽光を直接当てると、小さな領域に集光する光学的特性があります。ごくまれなケースですが、車両に損傷を与える場合があります。直射日光があたったままの状態では駐車しないでください。※右イラストのように車両後方から直射日光があたる状態が最も集光の影響を受ける状態となります。※直射日光があたる場所に、やむを得ず駐車する場合はウインドシールドへキズが付きにくいタオルなどを掛けて直射日光があたらないようにしてください。 ガソリンやブレーキ液、アセトン、シンナーなどの化学物質ウインドシールドに付着しないようにしてください。付着すると細かいヒビやキズ、クモリ、変形、ワシなどが生じます。付着してしまった場合は直ちに水で洗浄してください。 本商品は長期間使用すると紫外線の影響や経年変化などによりウインドシールドに変色やクモリが発生する場合があります。前方の視界が悪くなった場合はそのまま使用せず、必ず新しいウインドシールドと交換してください。また車両の転倒やその他の影響によりウインドシールドにキズやクモリ、歪み、ワシなどが発生した場合も同様に交換してください。 	
--	--	------

	<ul style="list-style-type: none"> 走行前に各部の取付状態を点検 (ウインドシールドにガタはないか、風圧によって動くことはないか、ボルトやナットの緩みがないか) し、異常がある場合は必ず増し締めしてください。 車両装着後は走行フィーリングが変わりますので、必ず乗車感覚を確認してください。 暴風時や豪雨時、降雪時など危険な状況下では走行しないでください。 強風時は走行安定性が悪くなり、風の影響も受けやすく、降雨時は視界が悪くなります。必ず安全運転を行なってください。 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を必ず点検してください。異常があった場合は、商品の使用または車両の走行を中止し、認証工場や販売店へご相談してください。
--	--

注意 要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

	<ul style="list-style-type: none"> ウインドシールド清掃の際には、洗車ブラシなどの使用や乾いた布での乾拭きはしないでください。キズが付き視界性が悪くなります。またコンパウンドなどの研磨剤入りの磨き剤も使用しないでください。 本商品を装着時は風などの影響を受けやすく、不安定な場所に駐車すると転倒の恐れがあります。また、土の上など路面の柔らかい場所や傾斜した場所には駐車しないでください。必ずアスファルトなどの固く安定した平坦地に駐車してください。
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> 本商品を適合車種以外の車両には使用しないでください。 パッケージ開梱時や商品取り扱い時にパッケージや商品の端面、突起、バリなどがあり予期せぬケガや事故が発生する場合があります。取り扱いの際は必ず保護手袋を着用しケガには十分に注意して作業を行なってください。またエッジ部や突起部がある場合は適切な工具を使用して取り除く処理を行なってください。 本商品を開梱の際は構成部品や外観の不具合、異常がないことを必ずご確認ください。万一お気づきの点がございましたら、ご使用前にお買い求めの販売店へ速やかにご相談ください。 認証工場など適切な設備と技能、専門知識のある整備士を有した店舗にて脱着作業をご依頼ください。作業が適切に行なわれないと、作業中やご使用中に車両や部品の損傷や不具合が発生する場合があります。 作業は周囲の安全を確保し、安全な場所で車両を安定させたらうで行なってください。 取り付けは各作業に適した工具をご使用ください。不適切な工具を使用すると部品の破損やケガをする可能性があります。 ハンドルを左右に全開にきり、ウインドシールドが車両に接触しないことを確認してください。また同時にブレーキレバーやスロットルが正常に作動することを確認してください。異常がある場合は取付位置を調整してください。 車両カバーを使用する場合はウインドシールド付き用のカバーを使用し直射日光が当たらない風通しのよい場所に駐車してください。※サイズが合わないカバーを無理に使用するとウインドシールドが変形する原因となります。また高温下で放置した場合も変形の原因となります。 ボルトやナット類の締め付けにはトルクレンチを使用し、所定トルクまたは車両メーカー発行のサービスマニュアルで指示されたトルクで確実に締め付けてください。特にウインドシールドを締め付ける際はオーパートルクに注意して取り付けてください。締め付けすぎるとウインドシールドの破損や変形の原因となる場合がございます。 取り付け後に約 100km 走行しましたら各部を必ず点検整備してください。その後は約 500km 毎に必ず点検整備を行ない、各部に異常がないか確認し、必要に応じてネジの増し締めを行なってください。
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> 本商品はポリカーボネート製です。走行直後のエンジンやエキパイ、マフラー付近に近づけると変形します。また、ポリカーボネート自体も可燃性素材ですので火に近づけないでください。
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> 本商品を装着したことによる物的損害や人的損害などの保証は、一切お受けできません。また商品保証は、本商品のみ対象となります。 本商品を取り付ける際は、車両にキズがつかないようにウエスなどで保護してから作業してください。 本商品は、商品の製造方法と車体の組み付け個体差により、商品のカットラインと車体側のラインは完全には合いません。あらかじめご了承ください。 本商品は純正状態を基準に設計しています。そのためハンドル周辺を変更されている場合は取り付けできない場合がございます。 アイドリング時や走行時にウインドシールド本体が振動で振れる場合がありますが、異常ではありません。
--	---



その他

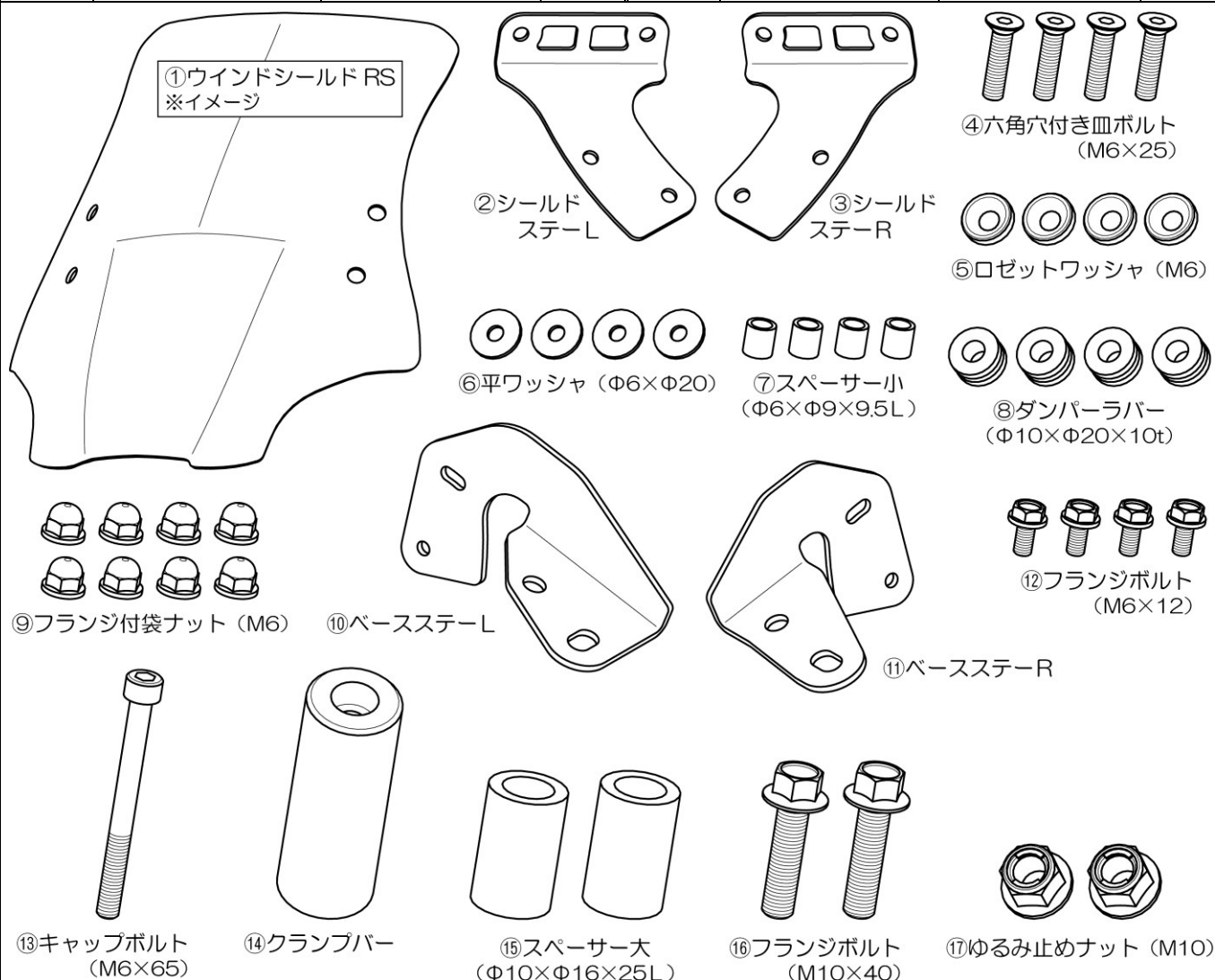
- ・車両組み付け個体差により、左右のミラー取り付け穴の中心から多少異なる位置に組み付けられている場合があります。この場合無理に位置合わせを行なうとウインドシールドの歪みや破損などの原因となりますので、必ずミラー取り付け穴位置を適切に調整してからウインドシールドを取り付けてください。
- ・本商品を取り付けると、純正ミラー位置がオフセットされます。後方確認ができるように必ず調整を行なってください。ミラーを確実に後方確認できる位置に調整してください。
- ・ご使用環境や経年変化、使用損耗、メンテナンス状況により素材劣化（サビ含む）が、早期から進行する場合があります。またキズやサビなどが発生している場合は、適切な補修を行なってください。補修せずに使用すると素材劣化が促進され、本商品の破損だけでなく、車両へのダメージの原因となります。
- ・本商品を取り付けた場合、車両側の取り付け面や、その周辺にキズが付く可能性があります。
- ・本商品、または本書内でご紹介した商品は予告なしに価格や仕様を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・【商品の手入れ方法】⇒水をかけて表面のほこりや砂を洗い流した後、柔らかいスポンジ等で水と中性洗剤を含ませてやさしく洗ってください。洗剤は水で洗い流してください。シンナーや、溶剤を含む化学薬品等の使用は、変形、歪み、破損の原因となりますので絶対に使用しないでください。

本商品の特長

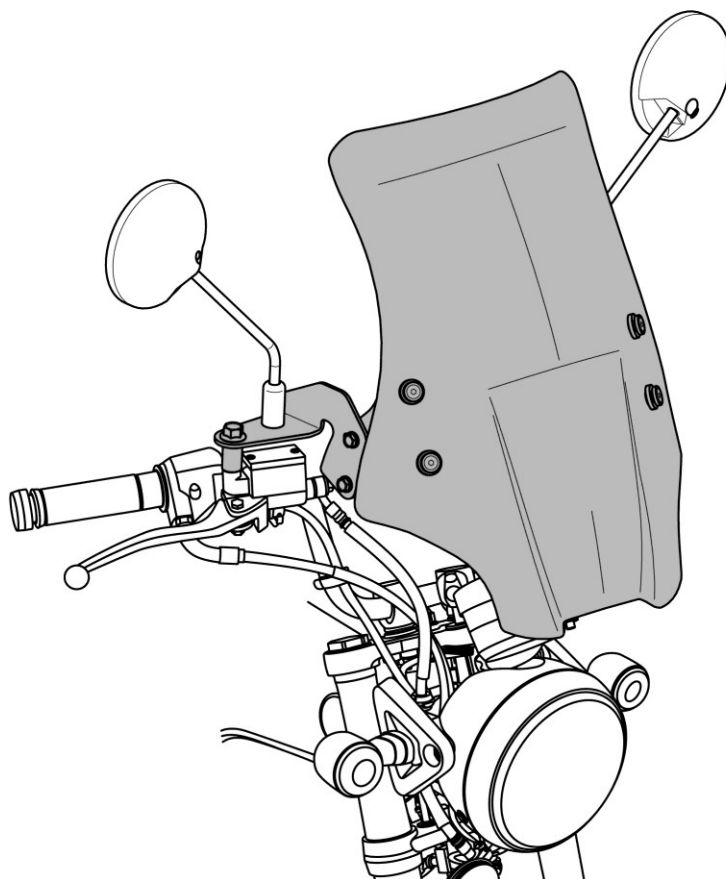
- ・ウインドシールド素材は、衝撃に強く弾力性のあるポリカーボネートを採用し、キズや汚れから守るハードコーティング仕様。
- ・シールド寸法：ウインドシールド SS（全長：約 370mm/幅：360mm/厚さ：3mm/色：スモーク）
ウインドシールド RS（全長：約 450mm/幅：360mm/厚さ：3mm/色：クリア）
- ・3次元立体曲面成型により、スタイリッシュなエアロフォルムを演出するウインドシールド形状で空気抵抗による疲労を軽減。またウインドシールドの角度調整が可能な取付ステーを採用し、状況に合わせて約 10° の範囲内で角度調整が可能。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	ウインドシールド RS	※92652：クリア	1	⑨	フランジ付袋ナット	M6	8
	ウインドシールド SS	※92653：スモーク		⑩	ベースステーL		1
②	シールドステーL		1	⑪	ベースステーR		1
③	シールドステーR		1	⑫	フランジボルト	M6×12	4
④	六角穴付き皿ボルト	M6×25 (P1.0)	4	⑬	キャップボルト	M6×65	1
⑤	ロゼットワッシャ	M6	4	⑭	クランプバー	Φ22.2×60L	1
⑥	平ワッシャ	Φ6×Φ20×1.6t	4	⑮	スペーサー大	Φ10×Φ16×25L	2
⑦	スペーサー小	Φ6×Φ9×9.5L	4	⑯	フランジボルト	M10×40	2
⑧	ダンパーラバー	Φ10×Φ20×10t	4	⑰	ゆるみ止めナット	M10	2



装着参考イラスト



衝撃緩衝装置について

2005年（平成17年）1月1日以降に認定された新型車と輸入車、及び2007年（平成19年）1月以降の全ての生産車に対し、新保安基準が適用されます。

本書では上記の新保安基準の『衝撃緩衝装置の装着』に関して記載させていただきます。本書の条件を満たしていても、必ずしも保安基準を満たすということではございません。

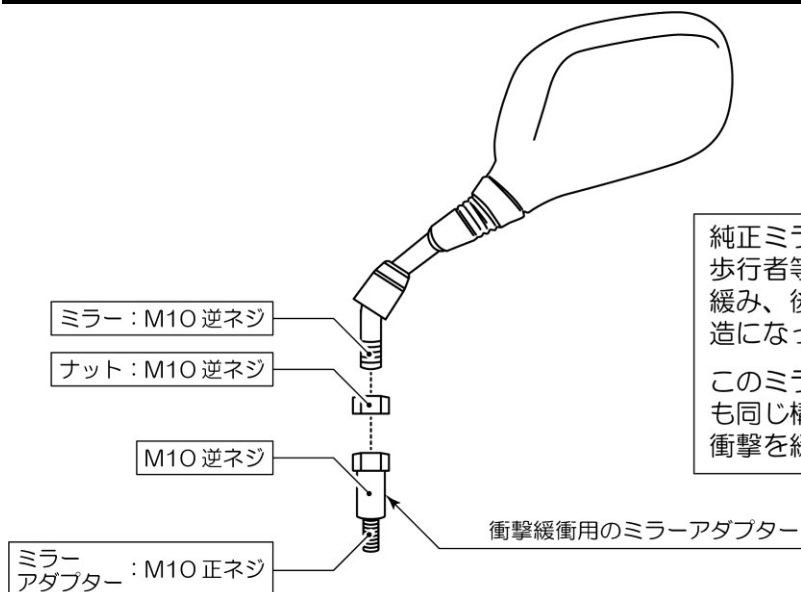
（ミラーの形状や面積、取付条件も関係する為）あらかじめご了承ください。

衝撃緩衝装置とは

衝撃緩衝装置とは主に『歩行者等にミラーが接触した際、衝撃を和らげる』装置を指します。新保安基準が適用された車両の多くの場合はミラー取付部に専用のアダプターボルトを使用しています。

新保安基準が適用されている車両において、衝撃緩衝装置の装着がなされていない場合は公道での使用ができません。

代表的な衝撃緩衝装置の例（左側ミラー）



純正ミラーを逆ねじ、車体側を正ねじとすることで歩行者等に前から接触した際はアダプターボルトが緩み、後ろから接触した際はミラーが緩むような構造になっています。

このミラーがついている車両の場合、右側のミラーも同じ構造となっており、前後からの接触に対して、衝撃を緩和する機構となっています。

ミラー及び衝撃緩衝装置の取り扱いについて

弊社で取扱販売をさせていただいている商品の中で、『純正の取付位置よりミラーの位置を変更する』商品がございます。純正ミラーの位置より変更する際は、必ず衝撃緩衝装置（アダプターボルト）も一緒に移動させてください。

また、ミラー及びアダプターボルトの取り外しの際は正ねじ、逆ねじに注意してください。

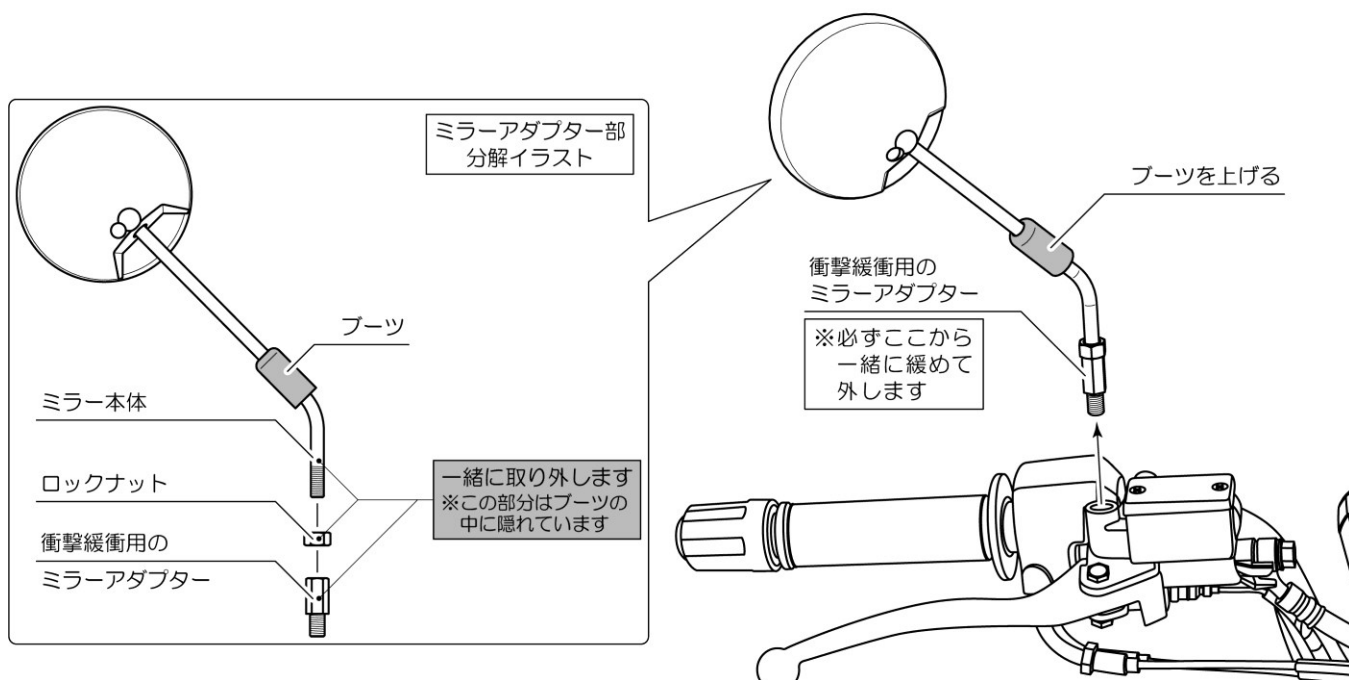
取付方法

【作業前の注意事項】

- 純正部品の取り外しや取り付けについては、各メーカー発行のサービスマニュアルに従い、正しく行ってください。
- 作業を始める前に周囲の安全を確保し、車両を安定させた状態で転倒やケガなどに十分注意して作業してください。
- メーター付近のボディカウル類にキズが付かないようにウエスなどで保護してから作業を進めてください。

01. 純正ミラーの取り外し

- イラストを参考に衝撃緩衝用ミラーアダプターごと左右の純正ミラーを取り外します。

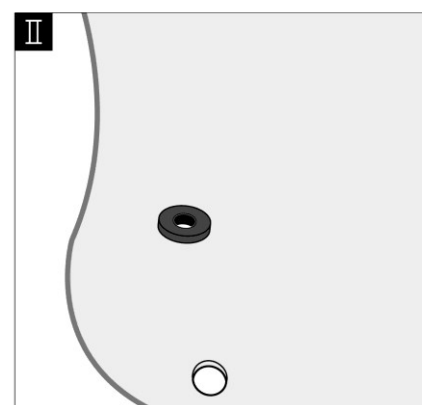
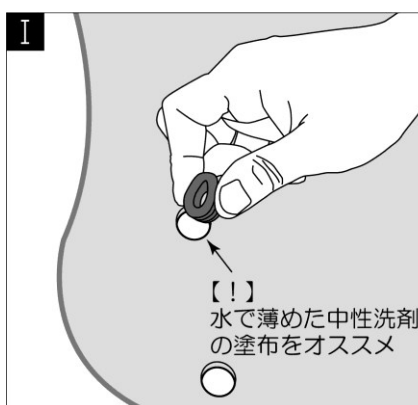


02. ダンパーラバーの取り付け

- イラストを参考に①ウインドシールドに⑧ダンパーラバー（Φ10×Φ20×10L / 4個）を取り付けます。

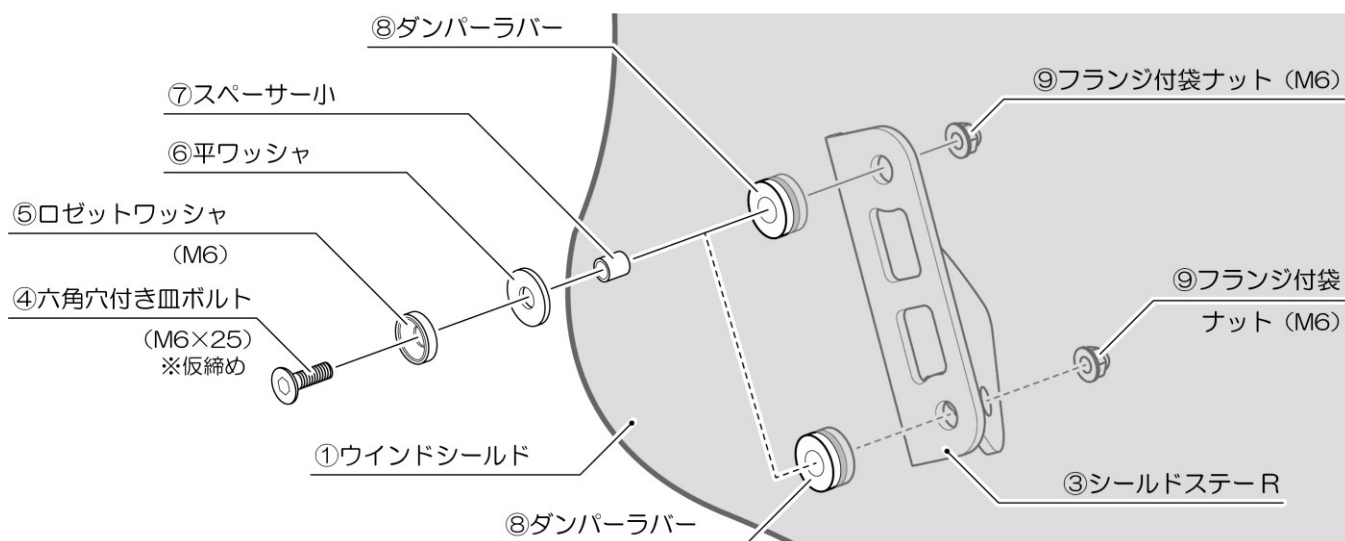
※ウインドシールドのダンパー取り付け穴にダンパーラバーを通すようにしながら溝にはめ込んでください。

※ダンパーラバーが組み込みにくい場合は、水で薄めた中性洗剤を塗布してから組み込んでください。



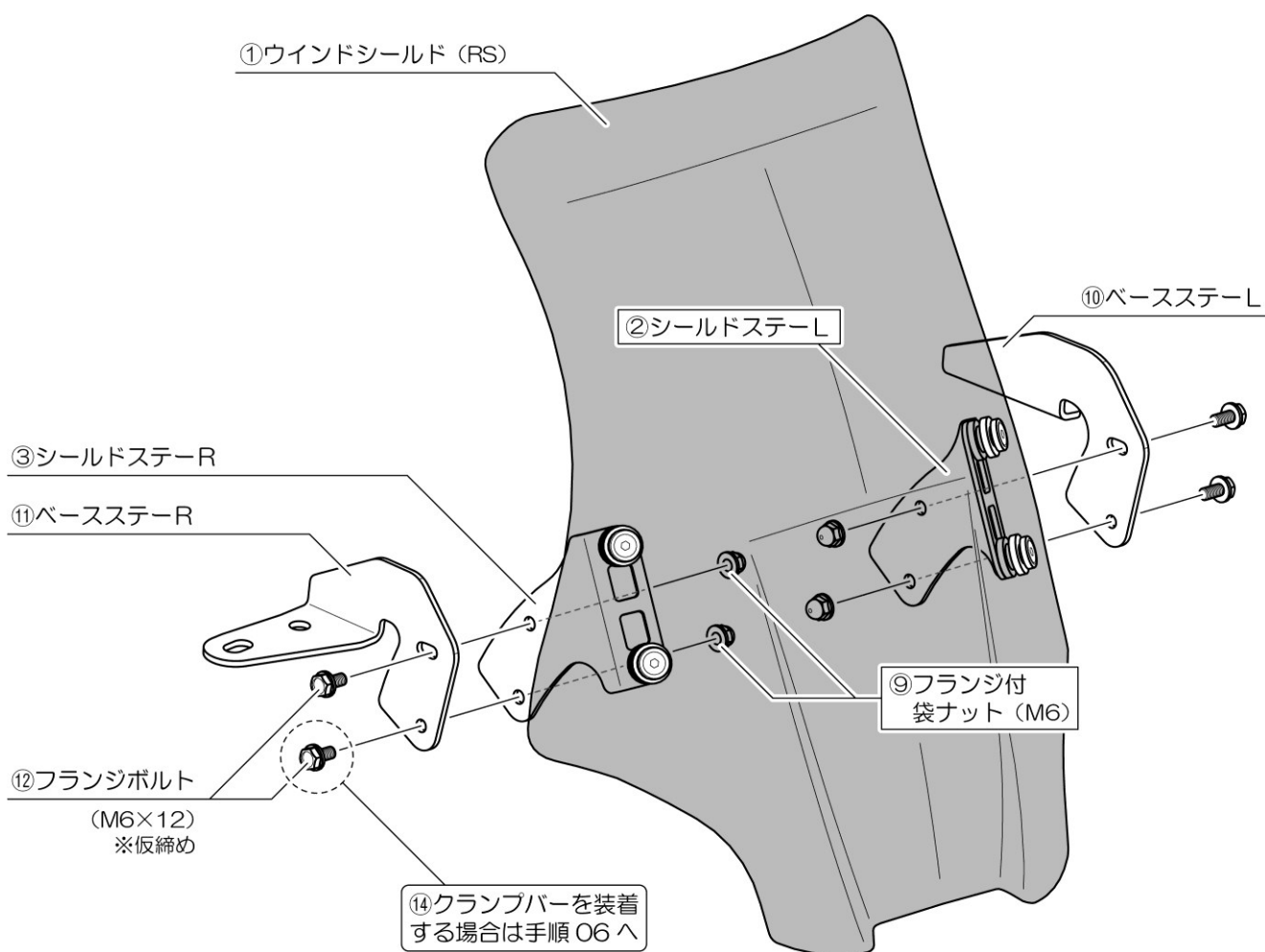
03. シールドステーの仮組み

・イラストを参考に①ウインドシールドに②シールドステーLと③シールドステーRを④六角穴付き皿ボルト (M6×25/4本) と⑤ロゼットワッシャ (M6/4個)、⑥平ワッシャ (Φ6×Φ20×1.6t/4枚)、⑦スペーサー小 (Φ6×Φ9×9.5L/4個)、⑧ダンパーラバー (M6/4個) を使用して組み立てます。



04. ベースステーの仮組み

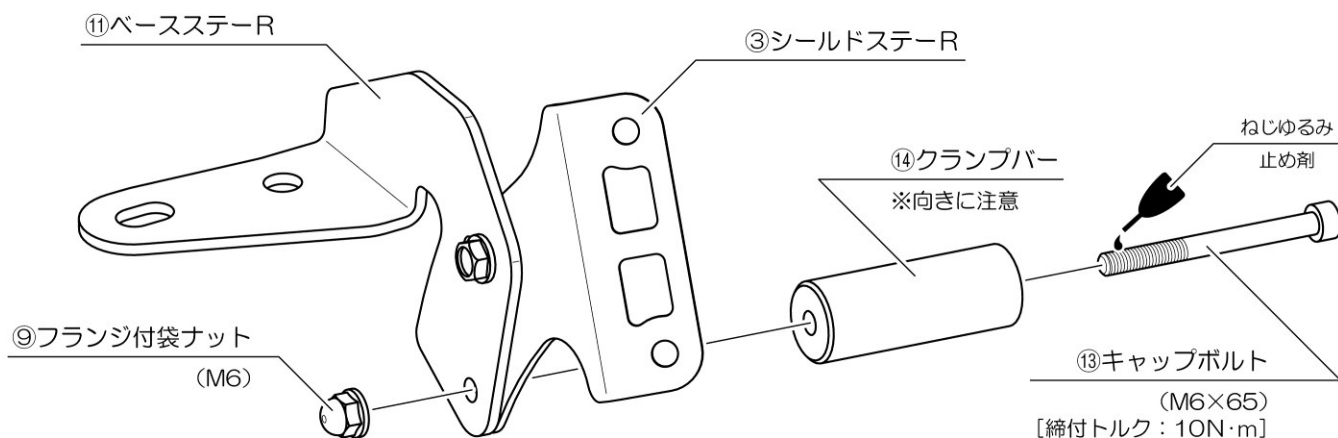
・イラストを参考に手順 03 で仮組みしたウインドスクリーンに⑩ベースステーLと⑪ベースステーRを⑫フランジボルト (M6×12/4本) と⑨フランジ付袋ナット (M6/4個) を使用して仮組みします。



05. クランプバーの取り付け（※使用しない場合は手順 06 へ）

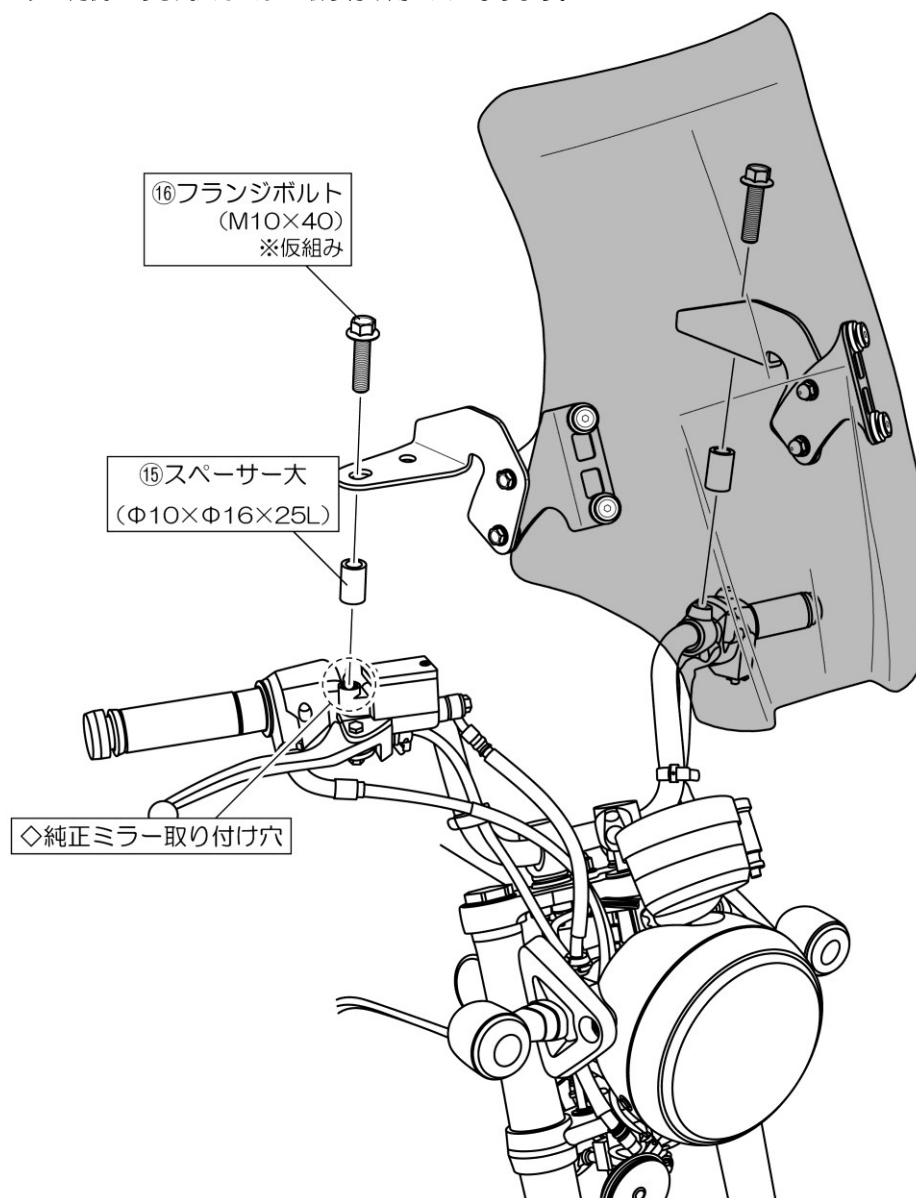
- ⑭クランプバーを装着する場合は⑬キャップボルト（M6×65）を使用して車両の内側になるように取り付けします。
※クランプバーの片側には⑬キャップボルトの頭部が収まるように段付加工されています。向きに注意して取り付けてください。
※クランプバーを装着した場合、⑫フランジボルト（M6×12）が1本あまります。

※⑭クランプバーはφ22.2のハンドルと同じ太さになっており、φ22.2ハンドルに装着できる汎用クランプが取り付け可能です。
※クランプバーを取り付ける場合は、ねじゆるみ止め剤を使用して確実に固定してください。
※クランプバーにはハンドル操作に影響を及ぼす重量物や視認を妨げる物は取り付けしないでください。



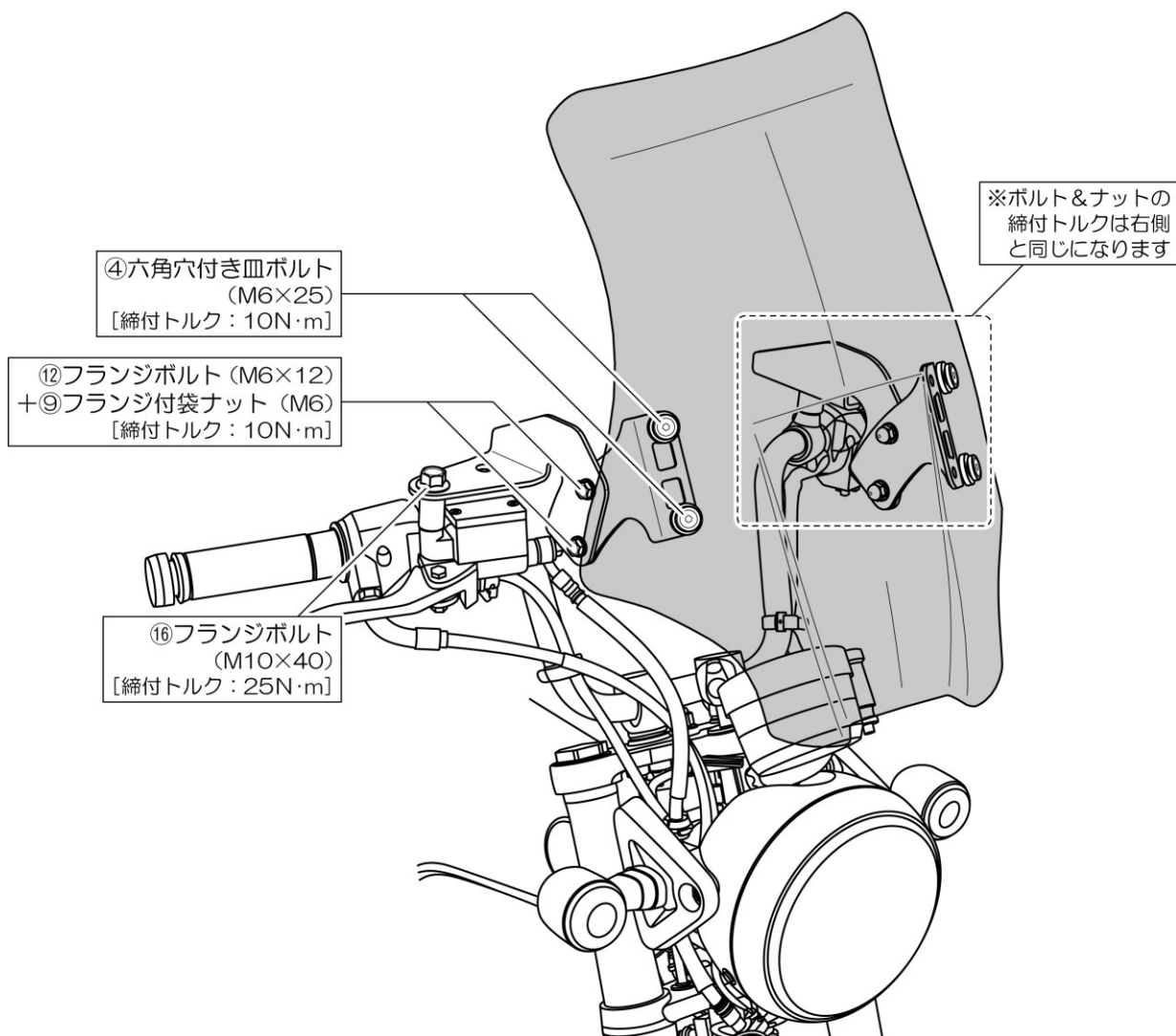
06. ウィンドシールドの取り付け

- イラストを参考に手順 04 で仮組みしたウィンドシールドを⑮スペーサー大（φ10×φ16×25L）と⑯フランジボルト（M10×40）を使用して車両に仮組みします。
※ベースステア内側にある丸穴はミラー取り付け用の穴になります。



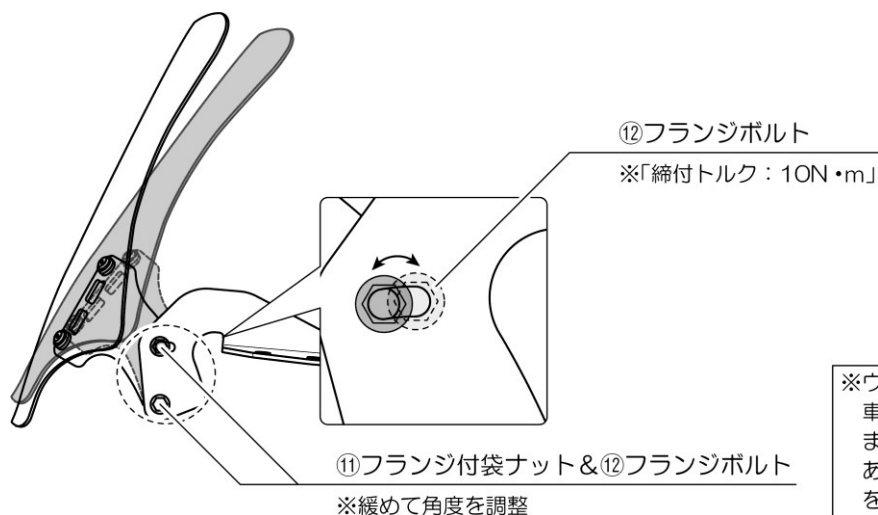
07. シールドステーの固定

- イラストを参考に④六角穴付き皿ボルト (M6×25) と⑨フランジ付袋ナット (M6) を所定トルク (10N・m) で締め付けて①ウインドシールドと②シールドステーL、③シールドステーRを固定します、
- ウインドシールドと車両の中心を合わせます。
- ⑩フランジボルト (M10×40) を所定トルク (25N・m) で締め付けて⑩ベースステーLと⑪ベースステーRを車両に固定します。



08. ウインドシールドの角度調整

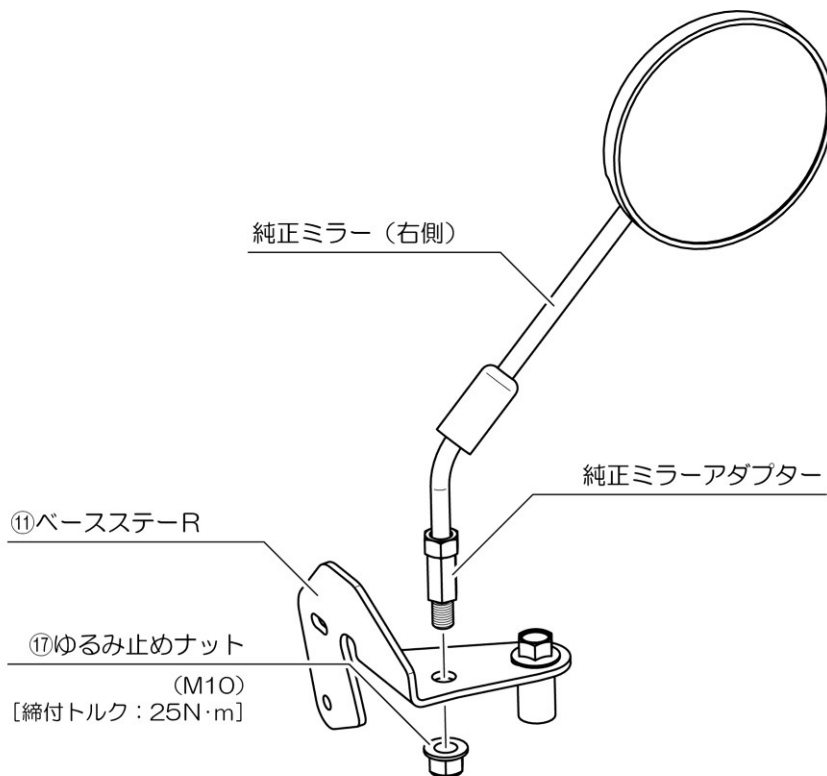
- イラストを参考にウインドシールドをお好みの角度に調整し、手順 O4 (手順 O5 含む) で仮組みした⑫フランジボルト (M6×12) を所定トルク (10N・m) で締め付けて固定します。



※ウインドシールドは車両との接触を避けるために、車両との隙間を 15mm 以上確保してください。また車両個体差などにより隙間が狭くなる場所がある時は、あらかじめプロテクションシールなどを貼り付けて車両側を保護してください。

10. 純正ミラーの取り付け

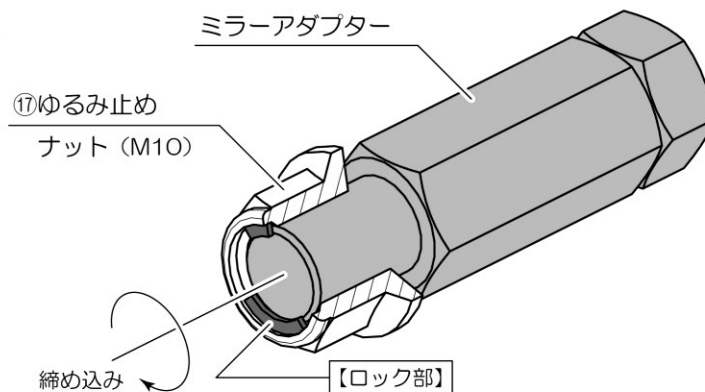
- イラストを参考に左右の⑩ベースステーLと⑪ベースステーRに左右の純正ミラーと⑰ゆるみ止めナット (M10) を取り付けます。
- 後方確認ができるように純正ミラーを調整します。



◇ゆるみ止めナットの取り扱い方法◇

◆ゆるみ止めナットは「ゆるみ止め機構」を持ったナットです。ナットを締め込んでいき、イラストのロック部に差し掛かると非常に固くなり、手締めができなくなります。適切な工具を使用して所定トルクまで締め付けてください。

※ロック部からの締め込みは工具を使用しても回り方が非常に固くなります。



11. 点検作業

- 各部が確実に取り付けられていることを点検してください。異常がなければ作業は終了です。

補修部品

品番	品名	構成内容
97523	ウインドシールド RS 単品	①ウインドシールド RS×1
91316	ウインドシールド SS 単品	①ウインドシールド SS×1
79423	シールドステーLRセット	②シールドステーL×1/③シールドステーR×1
25135	ベースステーLRセット	⑩ベースステーL×1/⑪ベースステーR×1
79424	ボルトナットセット A	④六角穴付き皿ボルト (M6×25) ×4/⑤ロゼットワッシャ (M6) ×4/⑥平ワッシャ (M6) ×4/⑦スペーサー小×4/⑧ダンパーラバー×4/⑨フランジ付袋ナット (M6) ×8/⑫フランジボルト (M6×12) ×4
79443	ボルトナットセット B	⑮スペーサー大×2/⑯フランジボルト (M10×40) ×2/⑰ゆるみ止めナット (M10) ×2
79425	クランプバーセット	⑬キャップボルト (M6×65) ×1/⑭クランプバー×1

■商品保証について

商品保証とは、通常のご使用において材料または製造上の不具合に起因する故障等が起きた場合、保証規定の範囲において無償修理または交換をお約束するものです。

- 保証期間は使用回数に関わらず、ご購入日から1年間となります。
- 保証を受ける場合には、お買い上げ日が証明できる書面(レシートなど)が必要となります。

※保証の対象は、新品かつ正規販売店でのご購入品に限ります。個人売買や中古品、インターネットオークションでの購入品は保証の対象外となります。

- 下記のアドレス(またはQRコード)より、保証規定の詳細をご一読の上、ご理解・ご承諾ください。

デイトナ保証規定

<https://www.daytona.co.jp/warranty/index.php>

※保証を受けるご連絡を持って、保証規定にご同意いただいたものとみなします。



■保証修理のお受付について

お買い上げ日が証明できる書面をご用意の上、購入店もしくは当社までご連絡ください。

インターネットお問合せ

<https://www.daytona.co.jp/contact/form.php>



株式会社 **デイトナ**
東証スタンダード上場

転載 本取扱説明書の内容の一部、
禁止 または全ての無断転載を禁止

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮4805

<https://www.daytona.co.jp>